

2020年

こまづがわ地域号

制作：広報部 ぼくら

題字：宗新光さん

社会福祉法人ひらいルミナル 地域活動支援センターこまづがわ

〒132-0034 東京都江戸川区小松川2-9-2 1階 ☎ 03-5858-6421(代表)



🐾 さくらねことは？ 🐾

耳の先がカットされた猫を野外で見たことはありますか？その猫は「さくらねこ」と呼ばれています。「さくらねこ」とは、不妊去勢手術済みのしるしに、耳先をさくらの花びらの形にカットした猫のことです。この耳のことを、さくら耳といい、オスは右、メス猫は左の耳をカットしています。こうした活動はTNR（Trap：捕獲し、Neuter：不妊去勢手術を行い、Return：元の場所に戻す）と呼ばれています。さくら耳は手術をした証として、再度捕獲や手術をされないための目印なのです。

🐾 なぜTNRが必要な？ 🐾

一言でいえば、不幸な外猫を増やさないためです。確かに家猫と外猫の幸福の度合いを一概に計れるのかと疑問に思われる方もおられるでしょう。しかし例えば、以下のこうした事実があります。まず寿命の点です。人間に飼われている猫は20年生きることもあります。いわゆる外で暮らすノラ猫はおよそ3年から5年しか生きられません。そして、国内で殺処分される猫は年間約3万匹（2019年度）といわれています。その大半は飼い主の都合で飼えなくなった猫や、外で暮らす猫が生んだ子猫です。ノラ猫は元をたどれば、無責任な飼い主がペットを捨てるなどしたことが原因であり、我々人間の行いが生んだ存在です。そういった猫は人間が把握し、エサやりやトイレの管理を行い、地域のルールに即して飼育し、健やかに生を全うさせることが肝要です。そのためにTNRが必要となるのです。なお、TNR活動が開始された2005年には年間22万匹あまり行われていた猫の殺処分ですが、活動の成果があり現在上記のように約3万匹まで減少しています。これをゼロとするのが我々の願いです。

🐾 さくらねこは飼ってもいいの？ 🐾

愛情と責任を持って、ぜひ家族に迎えてあげてください。エサをもらえたとしても、ノラ猫の暮らしは過酷です。夏の暑さ、冬の寒さに耐えられず命を落とす猫は多くいます。大雨、台風や雪などの荒天、交通事故の危険もあります。また、信じられないことですが、悪意がある人間に害される猫たちもいるのです。また、猫を飼う際は不妊去勢手術を処置し、室内飼いをしてあげてください。上記のように屋外は猫にとってとても危険なのですから。飼い主になること以外にも、その猫が「地域猫」として住人と共生できるようにすることも、外猫を助ける方法の一つです。しばしば誤解されることではありますが、マナーを守ればエサやりは違法ではありません。食事の後片付け、トイレの世話などの徹底を行い、地域の協力を得ることが猫、住民双方の幸せにつながるのです。



協力：平井・小松川Shippoの会



7月24日時点里親募集中。お問合せは右記QRコードまで